

2023年度後期「業界研究（物流）」を開講中 ～講師は物流業界のエキスパート～

流通科学大学（神戸市西区／学長：藤井啓吾）では、各業界で活躍するエキスパートを講師に迎え、『業界研究』を開講しています。

9月28日（木）からは、『業界研究（物流）』の講義がスタート。受講している学生たちは、物流業界・企業の置かれている現状、将来の展望や課題などについて学ぶとともに、物流業界についての理解を深めています。昨今、よく耳にする物流の「2024年問題」。その渦中にある業界・企業の方々から“直接”お話を聴くことができる本講義は、学生たち自身が、自分なりに、物流業界の課題と未来について考えることができる良い機会となっています。

■担当教員：商学部マーケティング学科 教授 田中康仁のコメント

令和4年度の宅配便取扱個数は、はじめて50億個を突破しました。ネットで買い物をし、自宅に居ながら商品を受け取れる、便利な日常に“物流”は欠かせません。一方、深刻なドライバー不足により、今まで通り荷物が運べなくなる状況も心配されています。

物流業界の第一線で活躍する実務家から学び、一人でも多く“物流”に関心を持ち、業界が抱える問題を解決できるキーパーソンとなることを願っております。

■業界研究（物流）

開講期間：2023年9月21日（木）～2024年1月11日（木）、開講時限：木曜3時限

担当教員：商学部マーケティング学科 教授 田中 康仁

受講者：流通科学大学生 186名（2年 75名、3年 64名、4年 47名） ※全学部生受講可



公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

関西支部 大西康晴氏

2023年10月5日



聴講する学生たち

